ユーザーマニュアル

Ver 3.0

香川大学　総合情報センター

平成 29 年 3 月

改訂箇所	改訂内容	改訂日
全体	開発に伴う改訂	2016/03/28
付録 1	MacOS Sierra での設定方法追加	2017/03/13

目 次

１．DOWNLOAD STATION の概要.....1

（１）．DOWNLOAD STATION による資料やソフトウェアインストールの流れ..... 1

（２）．利用環境..... 1

２．ログイン.....2

３．TOP MENU （トップメニュー画面）.....3

４．ソフトウェアのダウンロード.....4

（１）．『ソフトウェア選択』画面で、ダウンロードしたいソフトウェアを選びます。..... 4

（２）．『ダウンロード実施』画面で、必要項目を入力し、ダウンロードします。..... 5

（３）．『認証プログラム番号確認』画面..... 9

５．ソフトウェアのインストール （WINDOWS 編） ※MAC 編は P.19～.....10

（１）．認証プログラムを実行する..... 11

（２）．開始メッセージ..... 12

（３）．インストーラの確認（チェック）..... 13

（４）．インストーラの起動（実行）..... 15

（６）．ソフトウェアをインストールする..... 16

（７）．終了する（※必ず実施してください）..... 16

（８）．エラーメッセージと対応..... 17

６．ソフトウェアのインストール （MAC OS X 編）.....19

（１）．認証プログラムの実行..... 20

（２）．開始メッセージ..... 21

（３）．認証プログラムのチェック..... 21

（４）．パスワードチェック、実行..... 23

（５）．ソフトウェアをインストールする。..... 24

（６）．エラーメッセージと対応 26

７．ダウンロード履歴管理 28

（１）．ダウンロード履歴を検索し、一覧表示します。 28

（2）．ダウンロード履歴の詳細を参照する、管理する 31

８．システム使用履歴 34

９．ダウンロード明細出力 35

１０．インストール明細出力 38

１１．ＦＡＱ 40

１２．メンテナンスモード 41

【付録１】ダウンロードしたアプリケーションの実行許可　（MAC OS X 10.7 以降） 42

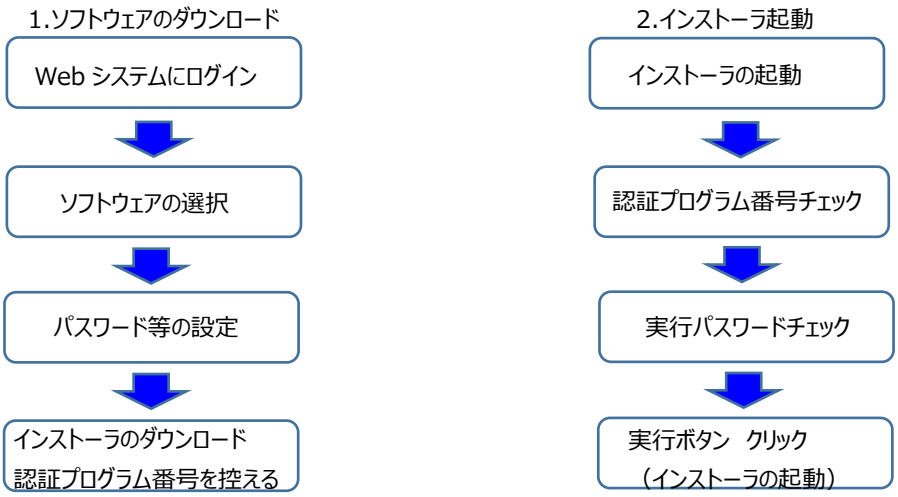
■MacOS X Lion（10.7）～MacOS X El Capitan（10.11）の場合 42

■macOS Sierra（10.12）以降の場合 45

【付録２】こんな時どうする？ 45

1．Download Station の概要

（1）．Download Station による資料やソフトウェアインストールの流れ



詳細は香川大学情報センターの HP より
「提供サービス」⇒「ダウンロードステーション」を御覧ください。

（2）．利用環境

① OS
Windows XP Professional SP3
Windows Vista
Windows 7 Professional SP1
Windows 8 または 8.1
※　.NET Framework 3.5 がインストールされていること
Mac OS X 10.6
Mac OS X 10.7
Mac OS X 10.8
Mac OS X 10.9

② ブラウザ
Internet Explorer 7 以降
Fire Fox　最新バージョン
Safari　最新バージョン
Google Chrome　最新バージョン

2．ログイン

香川大学ダウンロードステーションのページ(https://dlst.itc.kagawa-u.ac.jp/download/)にアクセスします。

以下の画面が表示されたら、ユーザーIDとパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてください。
（または、IDとパスワード入力後２回 ENTER キー押下）

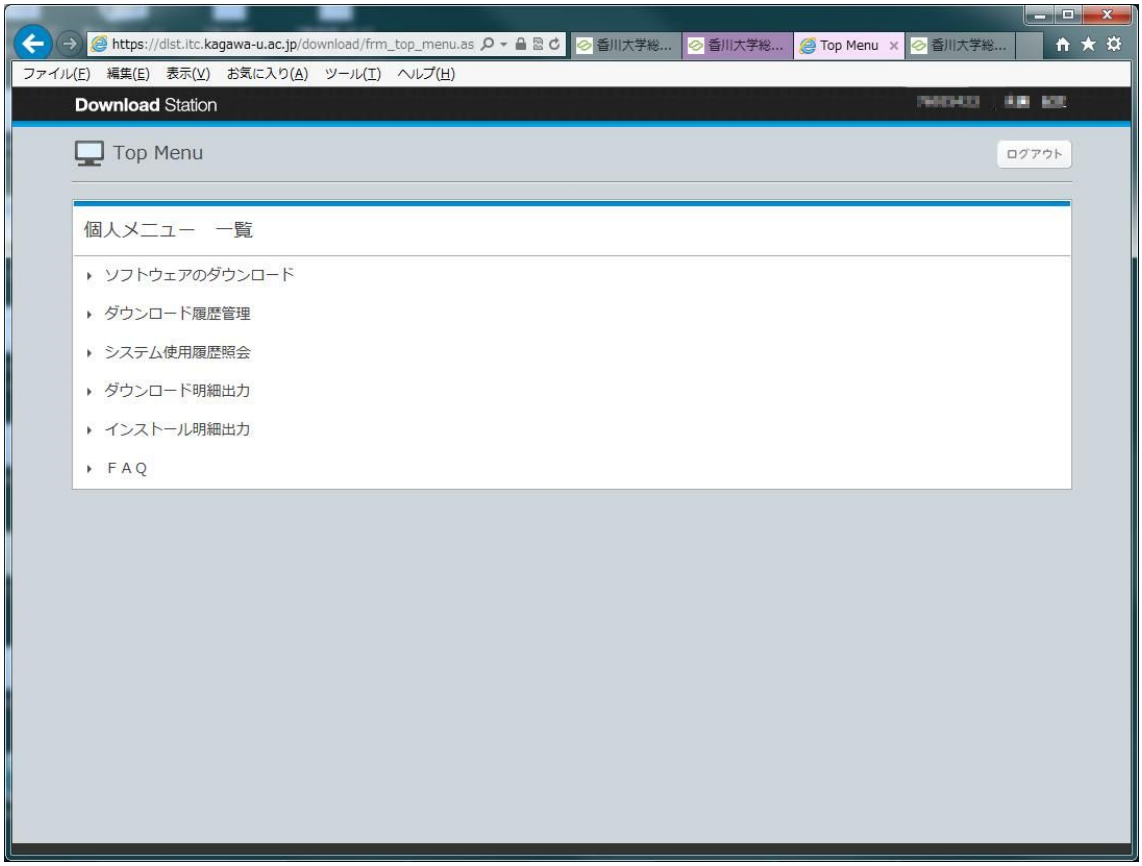
ユーザーID は全学の統合認証 ID です。

教職員…職員番号(数字)

学生…s 付き学籍番号

『Top Menu』画面が表示されます。

3．Top Menu （トップメニュー画面）



ログインユーザーID により、利用可能な機能がメニュー表示されます。
「ソフトウェアのダウンロードを選択してください」

メニュー	機能
ソフトウェアのダウンロード	インストイールしたいソフトウェアをダウンロードできるメイン機能です。
ダウンロード履歴管理	自分のダウンロード履歴を確認したり、インストール用のパスワードの変更ができます。**認証プログラム番号の確認**もできます。
システム使用履歴照会	自分のシステムの使用履歴を確認できます。
ダウンロード明細出力	自分のダウンロード履歴を確認できます。
インストール明細出力	自分のインストール履歴を確認できます。
FAQ	本システムの利用に際しての Q&A 集です。

４．ソフトウェアのダウンロード

インストールしたいソフトウェアのインストーラをダウンロードする機能です。

Top Menu

『Top Menu』画面の機能メニュー「ソフトウェアのダウンロード」をクリックします。

↓

ソフトウェア選択

ダウンロードしたいソフトウェアを、ツリーから検索し、明細の[選択]ボタンをクリックします。

↓

ダウンロード実施

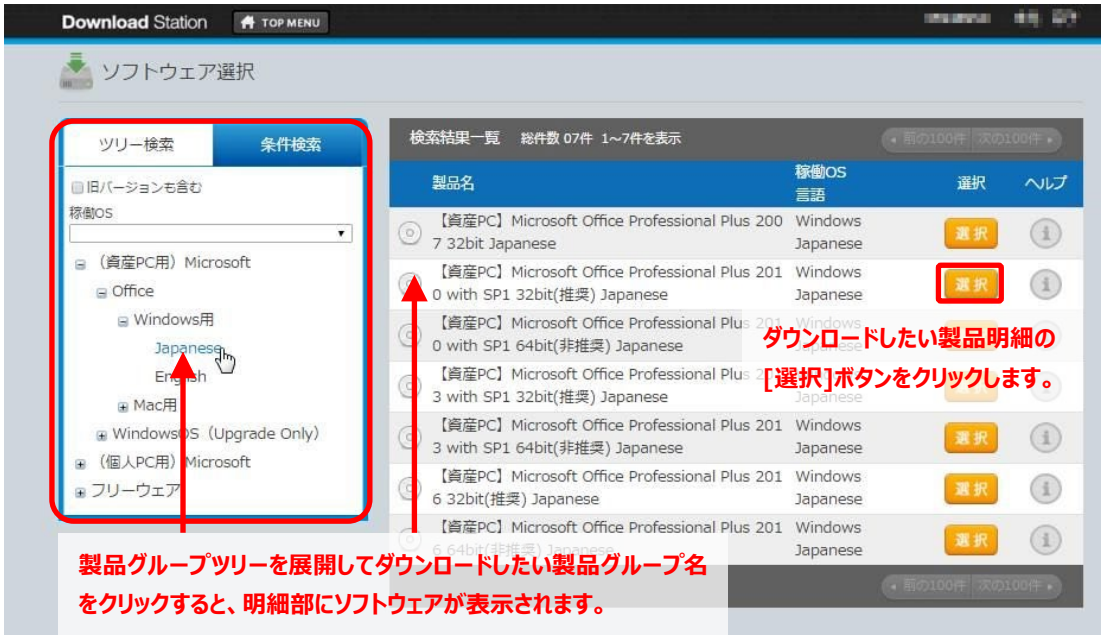
必要な情報を入力して、利用規約に同意のうえ、[ダウンロード]ボタンをクリックします。

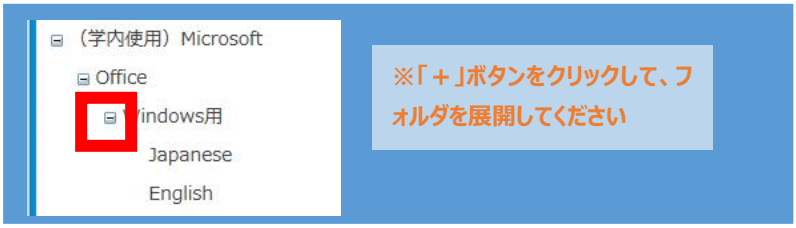
↓

認証プログラム確認

認証プログラム番号を控え、『Top Menu』画面、または『ソフトウェア選択』画面に戻ります。

（１）．『ソフトウェア選択』画面で、ダウンロードしたいソフトウェアを選びます。





（２）．『ダウンロード実施』画面で、必要項目を入力し、ダウンロードします。

① 次ページ以降を参考にし、必須項目を入力します。

No.	項目名	入力属性	説明
1	インストール予定数	数字	インストーラの実行回数を入力します。この回数を超えてインストーラを実行することはできません。 ※システム設定により入力不可項目である場合があります。
2	有効期限	数字	インストーラを実行できる有効期限を入力します。ダウンロードしてからの経過時間です。 ※システム設定により入力不可項目である場合があります。
3	実行パスワード	半角英数	ダウンロードした圧縮・暗号化インストーラを実行するために必要な任意のパスワードです。
4	実行パスワード確認	半角英数	
5	インストール区分	選択	通常は新規を選択してください。 ※システム設定により入力不可項目である場合があります。
6	手配番号	英数字	他の購入品と紐付ける為の番号です。(入力不要)
7	利用可能ユーザーID	英数字	インストールを実行できる ID を制限できます。

8	備考：使用場所	テキスト	インストール先 PC の設置場所を入力してください。
9	備考：利用者氏名	テキスト	利用者氏名を入力してください。

インストール数、有効期限については製品グループごとに下記の制限をしています。

■大学資産用マイクロソフト製品

ダウンロード回数:無制限

インストール回数:初期値は 1 回（最大 5 回まで）

利用期限時間：初期値は 72 時間（最大 72 時間まで）

■個人所有用マイクロソフト製品(教職員向け)

ダウンロード回数:**各種 Office 及び「ライセンス認証プログラム」のみ 1 回**

WindowsOS インストーラは無制限

インストール回数: **各種 Office 及び「ライセンス認証プログラム」のみ 1 回**

WindowsOS インストーラは無制限

利用期限時間：初期値は 24 時間（最大 24 時間まで）

※2 回目以降、再度インストールしたい場合、**ソフトウェア再ダウンロード申請書**を提出してください

■フリーソフト(全員)

ダウンロード回数:無制限

インストール回数:初期値は 1 回（最大 10 回まで）

利用期限時間：初期値は 72 時間（最大 240 時間まで）

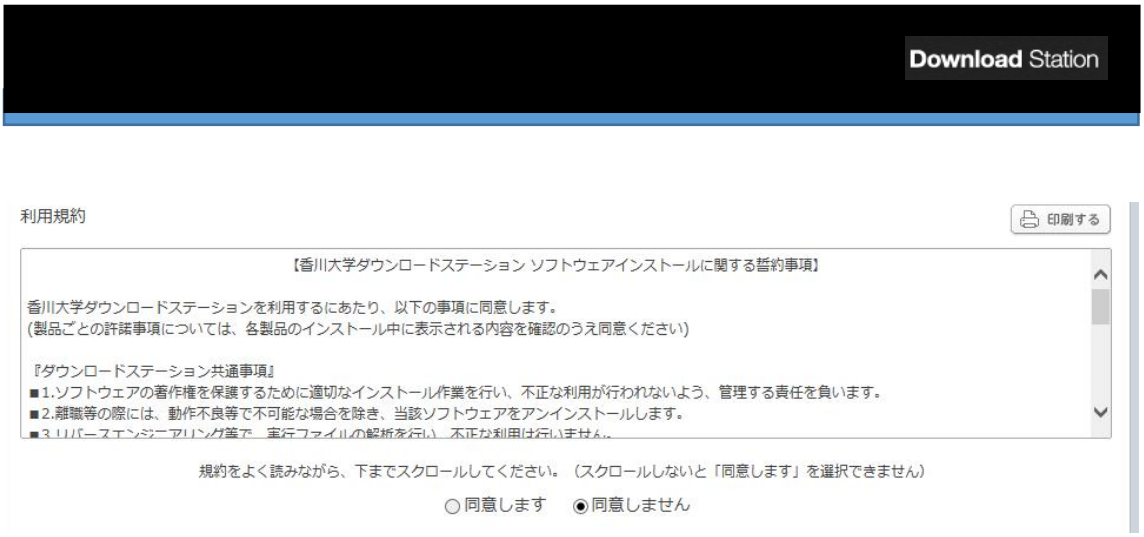
インストール予定数、有効期限は上記の範囲内で値を変更も可能です。（そのままでも構いません）

実行パスワードは任意のものを決めて下さい（半角英数文字）

インストール区分は「新規」か「再インストール」を選んで下さい。

「利用可能ユーザーID」と「手配番号」は入力不要です。

※入力ができてしまいますが、本学の運用上必要ではないので、入力いただかなくても結構です。



利用規約は必ず読んで下さい。

※最下部までスクロールしないと「同意します」を選択できません

使用場所、利用者のお名前を入力して下さい。

※「使用場所」…〇〇学部△△学科事務端末で使用 / 個人 PC で使用 など

② 利用規約の記載内容を確認し、[同意します]をクリックします。

利用規約欄に記載されている内容を確認し、[同意します]をクリック（ON に）してください。

このチェックが無いとダウンロードボタンをクリックすること（ダウンドード）ができません。

【留意点】

■[同意します]ラジオボタンをクリックすることができない場合には以下の 2 つの点について確認と操作をお願いします。

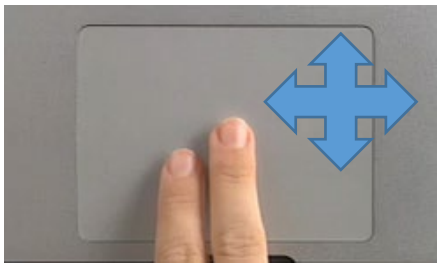
－利用規約表示エリアのスクロールバーを一番下までスクロール（移動）してください。

－インターネットエクスプローラを利用している場合、[ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で Download Station のサイトを[ローカル イントラネット] ゾーンに追加してください。

■Mac 端末における画面スクロールについて

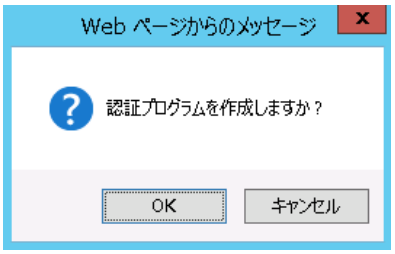
Mac 端末では画面のスクロールには “2 本指スクロール”を行います。

2 本指でスクロールパッドを上下左右に動かします。



③ [ダウンロード]ボタンをクリックします。

[認証プログラムを作成しますか？]という確認メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



（３）.『認証プログラム番号確認』画面

作成された認証プログラムの番号が表示されます。この番号は、インストール実行時に必要です。

認証プログラム番号は後で必要ですので、必ずメモして下さい。

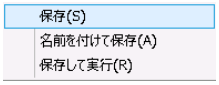
※認証プログラ番号を忘れてしまったら…

Top メニューの「ダウンロード履歴管理」で、過去に作成した認証プログラム情報を参照することができます。

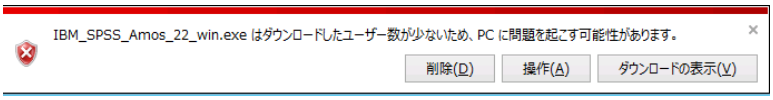
※以下の画面が出る場合

ブラウザが、Internet Explorer の場合、バージョンによってセキュリティ機能により、確認メッセージが表示されます。

[保存]ボタン右の▼をクリックするとショートカットメニューが表示されます。[保存（S）]にカーソルを合わせてクリックして保存先を指定して保存してください。



ダウンロード終了後、以下のメッセージが表示されることがあります。右上の[X]をクリックして閉じて下さい。



5．ソフトウェアのインストール（Windows 編） ※Mac 編は P.19～

ダウンロードした認証プログラムを実行し、パソコンにインストールします。

【前提条件】

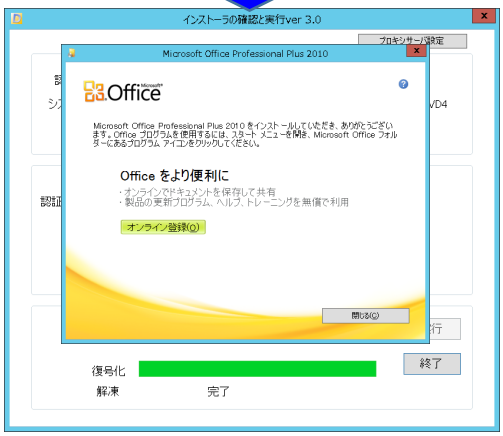
◆ ネットワークに接続し、Download Station サーバーと通信が可能である必要があります。
（サーバーに認証情報を確認するためです）

◆ Windows の場合
.NET Framework 3.5 がインストールされている必要があります。
Windows 7 以降には、ＯＳに標準装備されています。
未インストールの場合には、インターネットで検索するなどの対応を行い、マイクロソフト社のサイトからダウンロードしてインストールしてください。

インストール操作の流れ

ダウンロードしたプログラムを実行します。

認証プログラム番号と実行パスワードを入力してインストールを実行します。



インストールが終了したら[終了]ボタンをクリックして終了します。

【留意点】

★インストール中に[終了]ボタンはクリックしないでください。
必ずインストールが終了してから[終了]ボタンをクリックしてください。
実行中のインストールが失敗します。

★[終了]ボタンをクリックして終了しなかった場合、再起動時にインストーラ画面が表示されます。

（１）．認証プログラムを実行する

Download Station からダウンロードしたソフトウェアをインストールするには、ネットワークに接続し、Download Station サーバーにアクセス可能である必要があります。

① ダウンロードした認証プログラムファイルをダブルクリックします。

ファイル名称は、ソフトウェアごとに異なります。アイコンが左図の通りではない場合がありますが続行可能です。

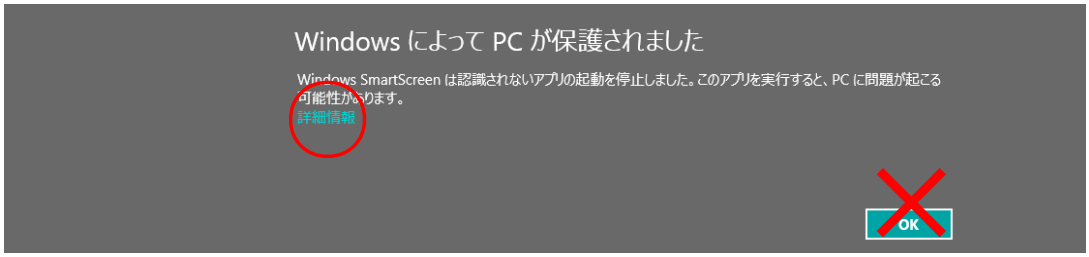
【留意点】 ご利用の OS により警告メッセージが表示される場合があります。

<お使いの PC が Windows 8 の場合>

OS の仕様により、以下の画面が表示される場合があります。

[詳細情報]をクリックしてください。

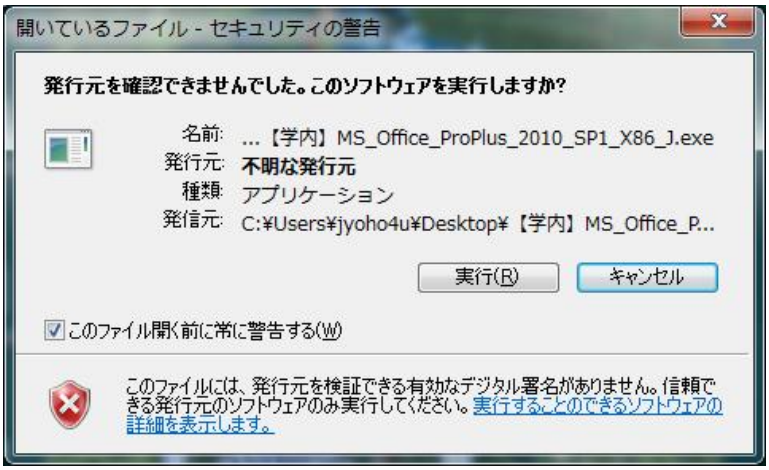
[OK]ボタンをクリックすると画面がクローズして終了します。その場合には再度、認証プログラムを起動してください。



[実行]ボタンをクリックしてください。

<お使いの PC が Windows 7　以降の場合>

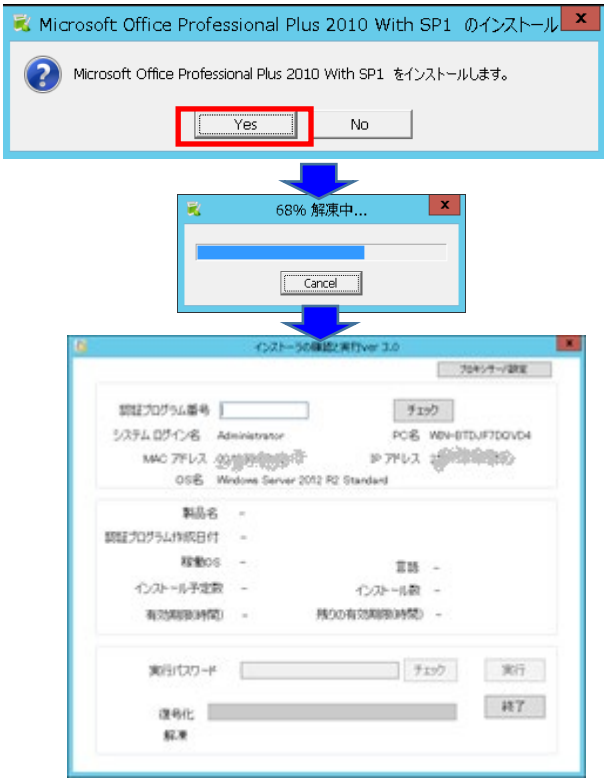
OS の仕様により、以下の画面が表示される場合があります。[実行]ボタンをクリックしてください。



その他、ウイルス対策ソフトなどにより、認証プログラムの起動の許可を確認するメッセージが表示されることがあります。その際には実行を許可するよう、操作をお願いします。

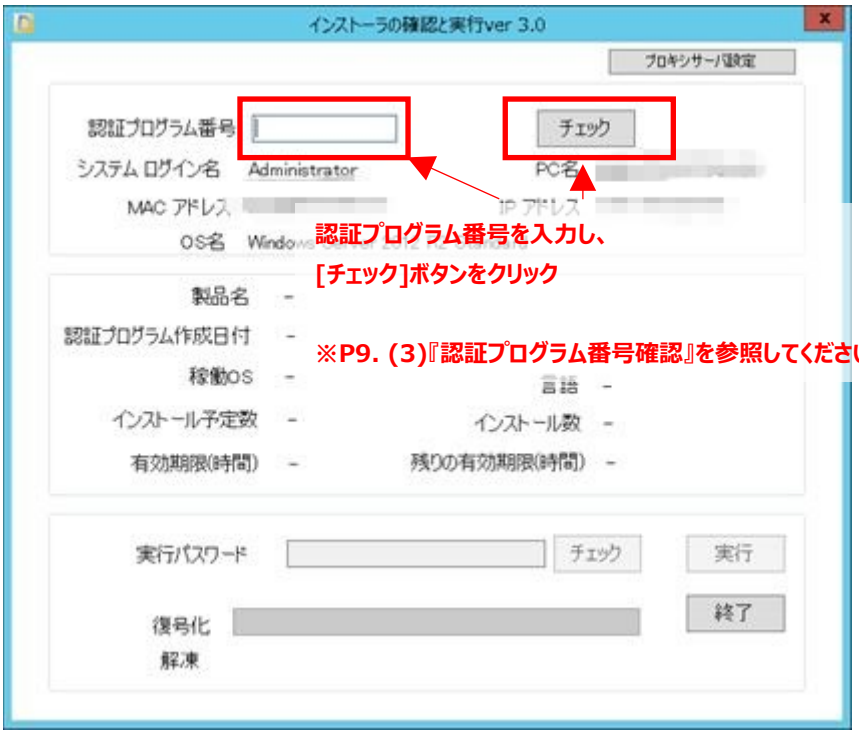
（２）．開始メッセージ

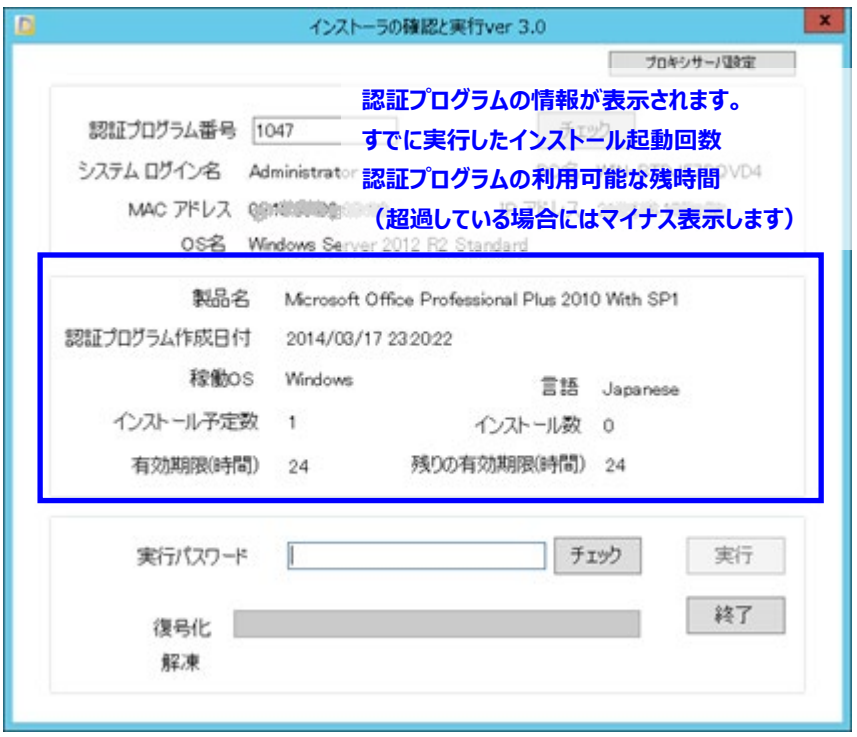
開始メッセージが表示されます。[Yes]ボタンをクリックしてください。
解凍処理が行われ、『インストーラの確認と実行』画面を表示します。



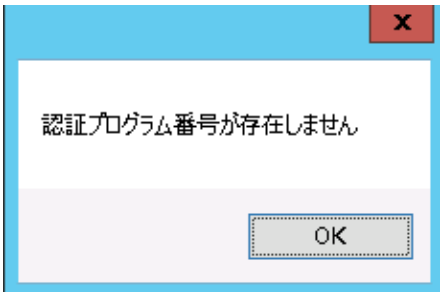
（３）．インストーラの確認（チェック）

① 認証プログラム番号を入力し、[チェック]ボタンをクリックします。
サーバーと通信し、認証プログラム番号の存在と製品の種類を確認します。
入力された認証プログラム番号が正しい場合、作成された認証プログラム情報が表示されます。



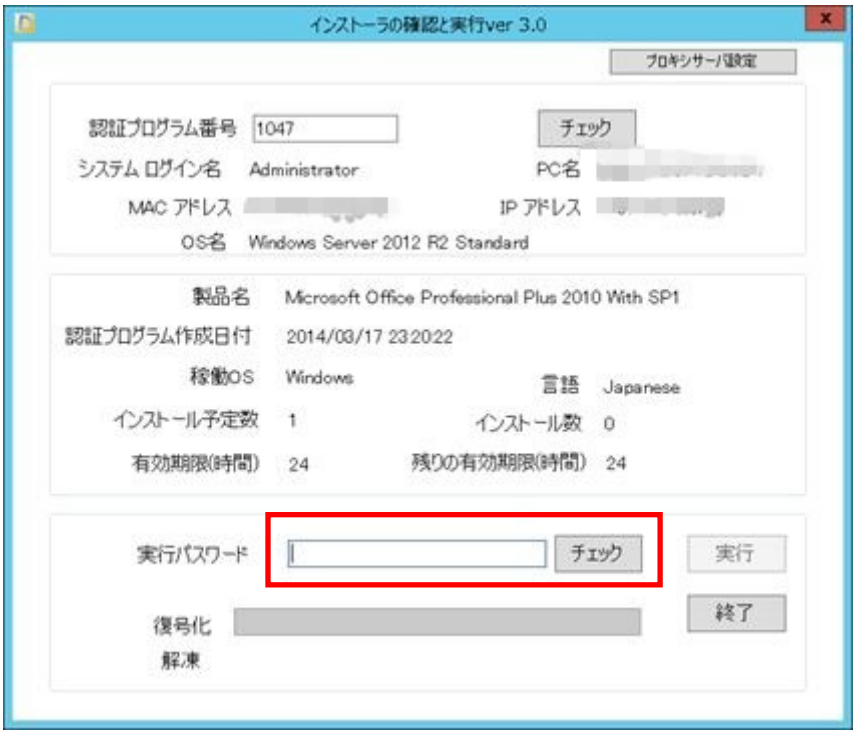


認証プログラム番号に誤りがあった場合は、以下のメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックして再度認証プログラム番号を入力してください。

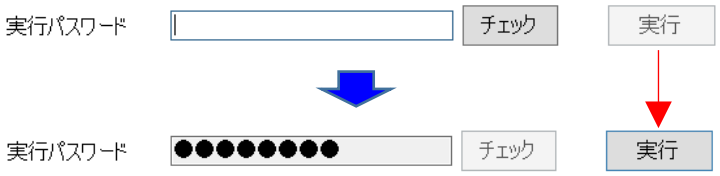


（４）．インストーラの起動（実行）

① 認証プログラム作成（ダウンロード）時に設定し実行パスワードを入力して[チェック]ボタンをクリックしてください。



② 実行パスワードが正しい場合、[実行]ボタンがアクティブになります。
[実行]ボタンをクリックしてください。

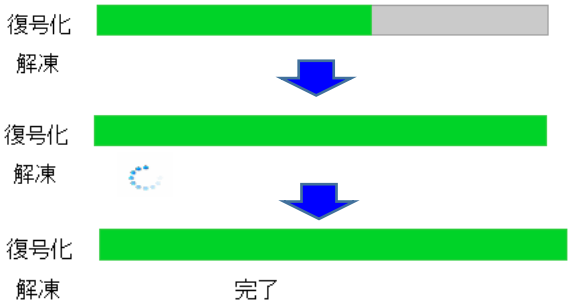


パスワードチェックが OK の場合、
[実行]ボタンがアクティブに変わります。

パスワードチェック時に、P17 （５）『エラーメッセージと対応』のエラーが表示されることがあります。

③ [実行]ボタンをクリックしてください。

※[実行]ボタンをクリックすると、複合化処理と解凍処理が行われます。
インストーラのファイルサイズによっては十数分必要な場合があります。



※「終了」ボタンは、インストールが完全に終了するまでクリックしないで下さい。処理が失敗することがあります。

（6）. ソフトウェアをインストールする

インストーラが起動します。インストーラの指示に従いインストールを実行してください。

（7）. 終了する（※必ず実施してください）

ソフトウェアのインスールが終了したら、[終了]ボタンをクリックして、当画面を閉じてください。

【留意点】

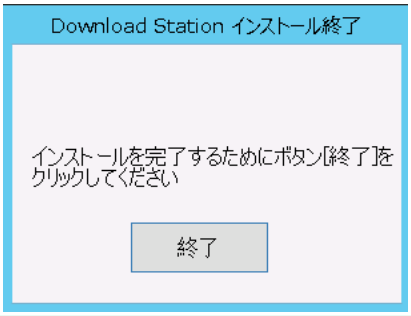
★イントール中に[終了]ボタンはクリックしないでください。

必ずインストールが終了してから[終了]ボタンをクリックしてください。実行中のインストールは失敗します。

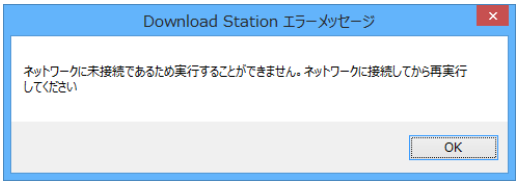
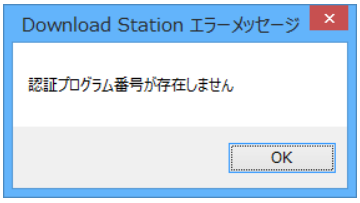
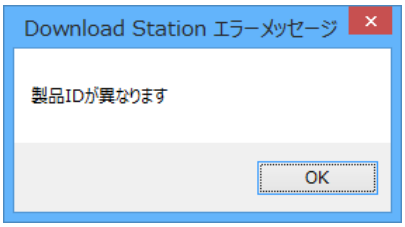
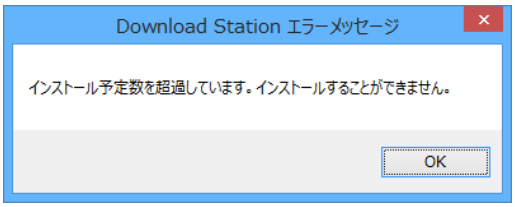
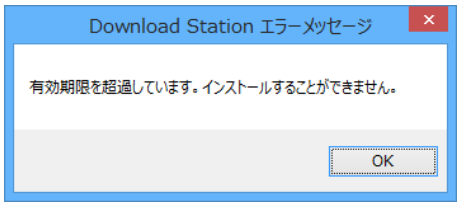
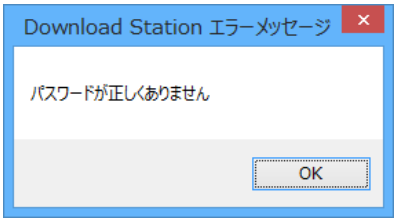
★[終了]ボタンをクリックして終えなかった場合、再起動時にインストーラ画面が表示されます。必ず[終了]ボタンをクリックしてください。

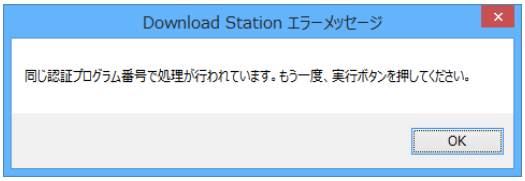
（ [終了]ボタンがクリックされれば、以降は表示されなくなります。

★Windows10 インストール時は自動的に再起動がかかるため、次回ダウンロードする場合に以下の画面が表示され、[終了]ボタンをクリックする必要があります。その後ダウンロードフォルダにあるインストーラをダブルクリックして再度起動させてください。以降、このメッセージは表示されず通常通りインストールできます。



（８）．エラーメッセージと対応

エラーメッセージ	原因と対応
	ネットワークに接続されていません。 OK をクリックして、Download Station サーバーに接続できることを確認して、再度実行してください。 ※プロキシの設定が必要な場合があります。
	入力された認証プログラム番号が存在しません。 OK をクリックして正しい認証プログラム番号を入力してください。
	入力された認証プログラムの製品とインストールソフトウェアが一致しません。 インストーラを間違えている可能性があります。 OK をクリックして、インストーラを終了してください。 インストーラが正しいかを確認のうえ、再度実行してください。
	認証プログラムのインストール予定数までインストール済みであり、これ以上インストールすることができません。 OK をクリックして、インストーラを終了してください。 認証プログラム番号が正しいか確認してください。正しい場合には、これ以上インストールできないため、新たに認証プログラムを作成してください。
	認証プログラムの有効期間切れです。 OK をクリックして、インストーラを終了してください。 認証プログラム番号が正しいか確認してください。正しい場合には、これ以上インストールできないため、新たに認証プログラムを作成してください。
	入力した実行パスワードが登録されているパスワードと不一致です。 OK をクリックしてメッセージを閉じてください。 パスワードまたは、認証プログラム番号が間違っていないかを確認してください。

エラーメッセージ	原因と対応
	同一認証プログラム番号に対する処理が行われています。 OK をクリックして、数分後に再度実行してください。

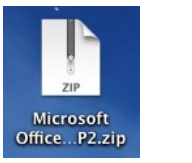
6．ソフトウェアのインストール　（Mac OS X 編）

認証プログラムの生成までは、p.1～p.9 を参照して下さい。

ダウンロードした認証プログラムを実行し、パソコンにインストールします。

【前提条件】

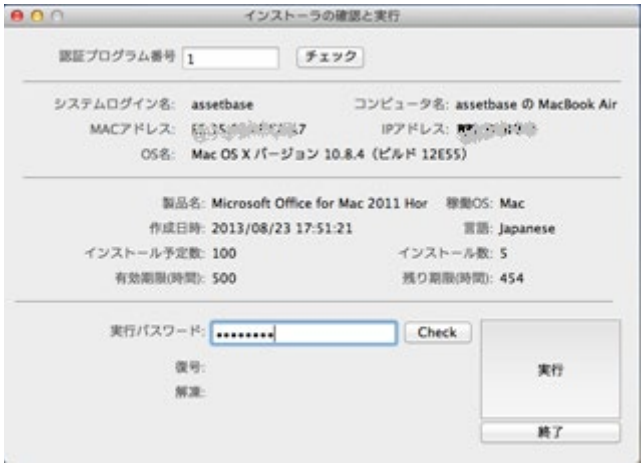
- ネットワークに接続し、Download Station サーバーと通信が可能である必要があります。
- Mac OS の場合
  Mac OS X 10.6 / 10.7 / 10.8 / 10.9



ダウンロードした .zip ファイルをダブルクリックします。

【留意点】
ダウンロード後、 .zip ファイル ではなく解凍後の.app ファイルである場合があります。

・Zip ファイルが解凍され、インストーラが表示されます。
・インストーラをダブルクリックして「インストーラの確認と実行」アプリケーションを起動します。



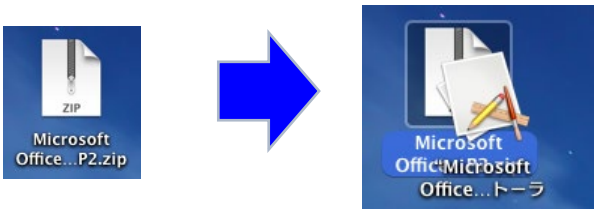
・認証プログラム番号と実行パスワードを入力してインストーラを起動します。

・インストールが終了したら、[終了]ボタンをクリックして「インストーラの確認と実行」アプリケーションを終了します。

【留意点】
★インストール中に[終了]ボタンをクリックしないでください。
必ずインストールが終了してから[終了]ボタンをクリックしてください。
実行中のインストールが失敗します。

（１）．認証プログラムの実行

① ダウンロードした .zip ファイルを解凍します。
ダウンロードした .zip ファイルをダブルクリックしてください。



.zip ファイルに重なった状態で 製品名のインストーラ.app ファイルが解凍されます。

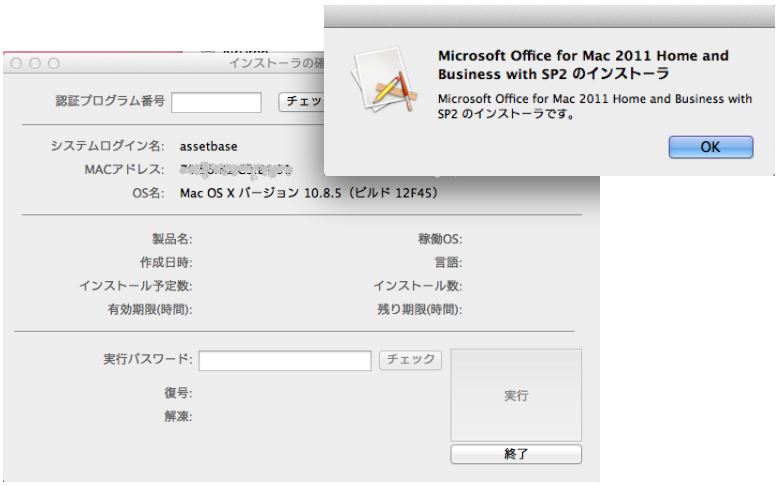
【留意点】
ダウンロード後、 .zip ファイル ではなく、解凍後の.app ファイルである場合があります。

② 解凍されたインストーラファイルをダブルクリックして起動します。
『インストーラの確認と実行』画面が表示されます。

【留意点】
Mac OS より Download Station 上でソフトウェアをダウンロードし、インストール作業を行う場合、「**開発元が未確認のため開けません**」もしくは「**壊れているため開けません**」というエラーメッセージが表示される場合があります。
このエラーを回避するためには、未確認の開発元のアプリケーションでもインストールすることができるように権限を一時的に許可する必要があります。

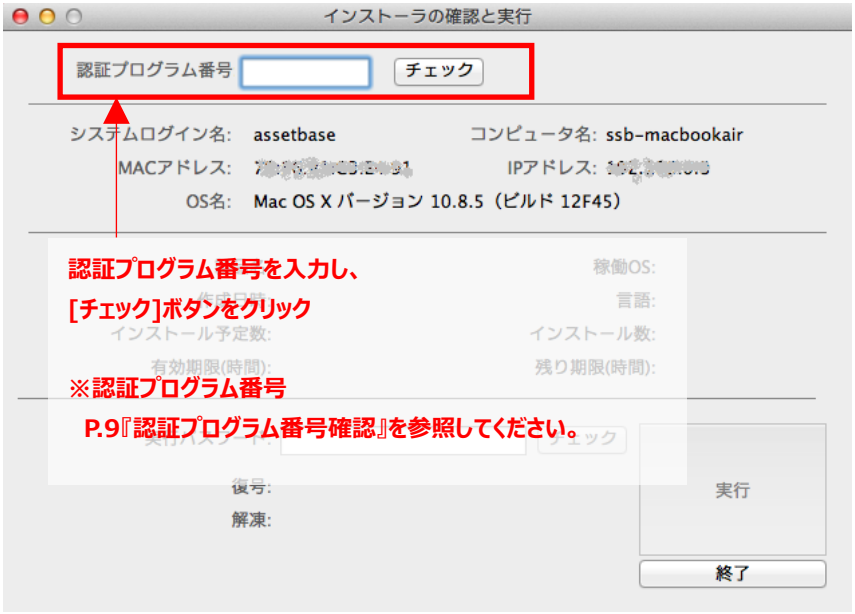
（２）．開始メッセージ

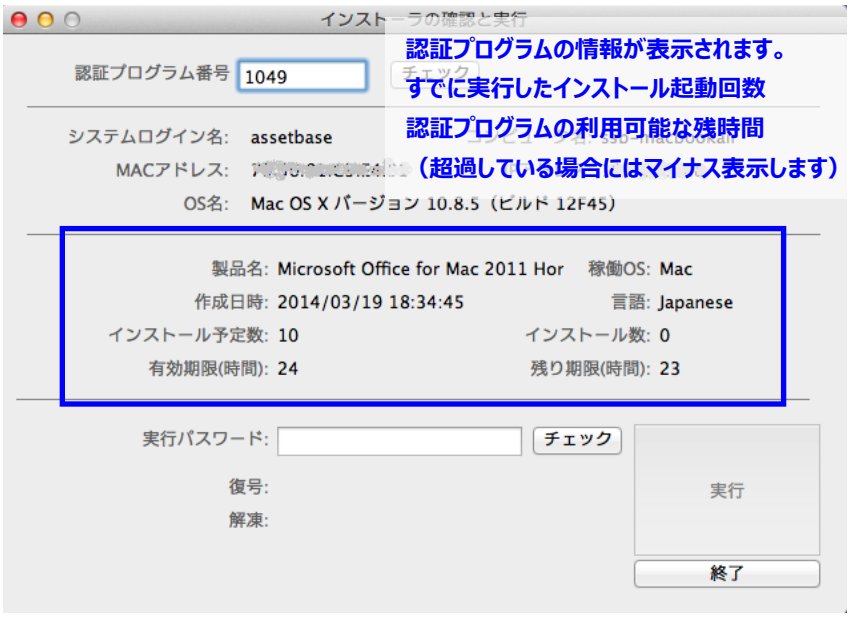
『インストーラの確認と実行』画面が開始メッセージと共に表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



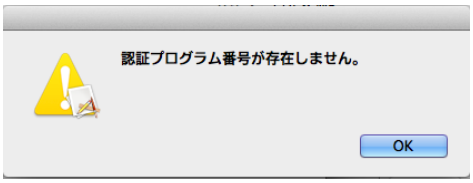
（３）．認証プログラムのチェック

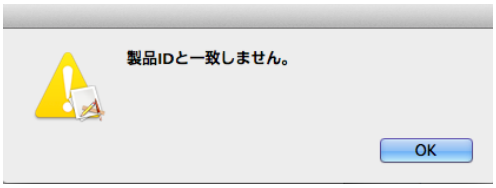
① 認証プログラム番号を入力し、[チェック]ボタンをクリックします。
サーバーと通信し、認証プログラム番号の存在と製品の種類を確認します。
入力された認証プログラム番号が正しい場合、作成された認証プログラム情報が表示されます。



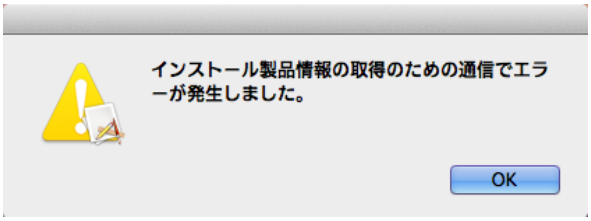


認証プログラム番号に誤りがあり、製品が異なる場合には以下のメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックして再度認証プログラム番号を入力してください。



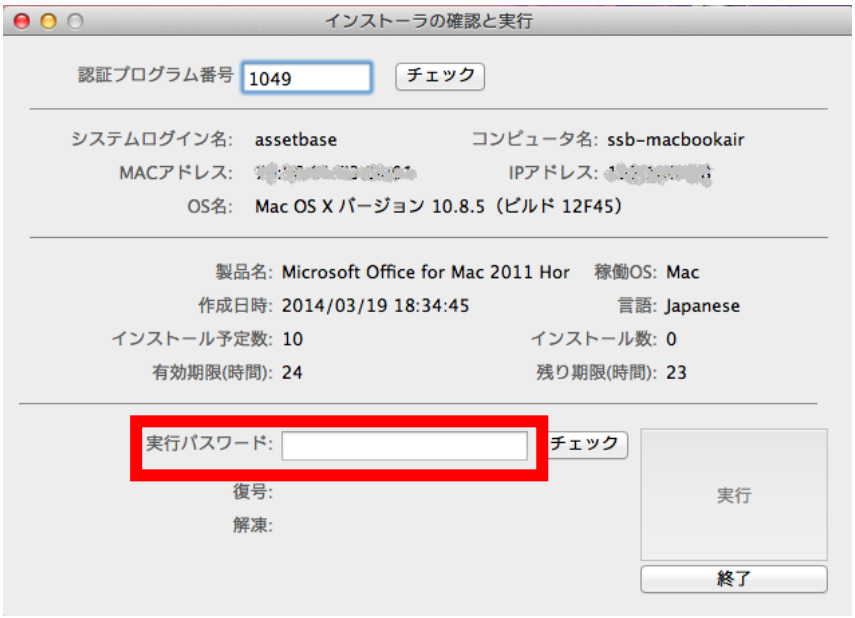


以下のメッセージが表示された場合には、サーバーと通信ができない状況です。ネットワークに接続するなど確認をお願いします。



（４）．パスワードチェック、実行

① 認証プログラム作成（ダウンロード）時に設定した実行パスワードを入力して[チェック]ボタンをクリックしてください。



② 実行パスワードが正しい場合、[実行]ボタンがアクティブになります。
[実行]ボタンをクリックしてください。

※[実行]ボタンをクリックすると、複合化処理と解凍処理が行われます。インストーラのファイルサイズによっては十数分かかる場合があります。

（５）．ソフトウェアをインストールする。

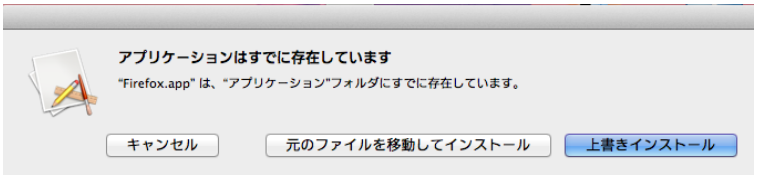
インストーラにより動作が異なります。

① インストーラが起動する

ソフトウェアのインストーラが起動します。

② インストーラが起動することなくインストールが終了する。

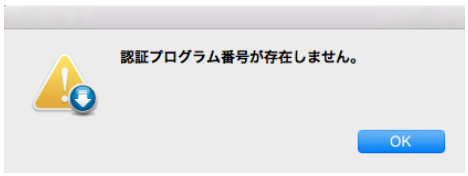
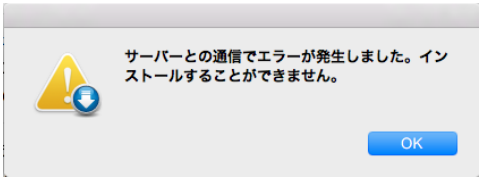
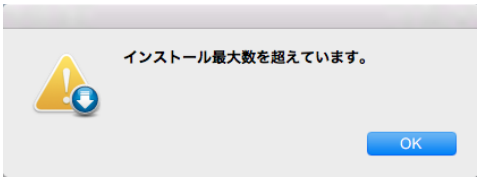
③ アプリケーションがすでにインストールされているとき、既存のファイルの扱いを確認される場合があります。

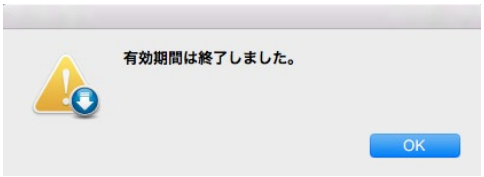
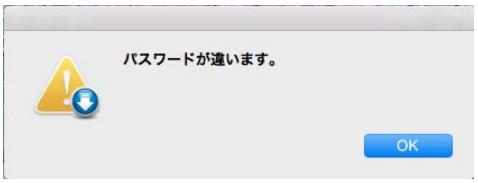


通常は、[上書きインストール]ボタンをクリックしてください。インストール終了メッセージが表示されます。

[元のファイルを移動してインストール]ボタンを選択した場合には、以下のメッセージを表示してインストールは終了します。

（6）．エラーメッセージと対応

エラーメッセージ	原因と対応
	キャンセル ボタンをクリックします。 [システム環境設定]-[セキュリティとプライバシー]で[ダウンロードしたアプリケーションの実行許可]を"すべてのアプリケーションを許可"に設定を変更後に再度実行します。
	OK ボタンをクリックします。 [システム環境設定]-[セキュリティとプライバシー]で[ダウンロードしたアプリケーションの実行許可]を"すべてのアプリケーションを許可"に設定を変更後に再度実行します。
	入力された認証プログラム番号が存在しません。 OK をクリックして正しい認証プログラム番号を入力してください。
	入力された認証プログラムの製品とインストールソフトウェアが一致しません。 インストーラを間違えている可能性があります。 OK をクリックして、インストーラを終了してください。 インストーラが正しいかを確認のうえ、再度実行してください。
	ネットワークに接続されていません。 OK をクリックして、Download Station サーバーに接続できることを確認して、再度実行してください。
	認証プログラムのインストール予定数までインストール済みであり、これ以上インストールすることができません。 OK をクリックして、インストーラを終了してください。 認証プログラム番号が正しいか確認してください。正しい場合には、これ以上インストールできないため、新たに認証プログラムを作成してください。

エラーメッセージ	原因と対応
	認証プログラムの有効期間切れです。 OK をクリックして、インストーラを終了してください。 認証プログラム番号が正しいか確認してください。正しい場合には、これ以上インストールできないため、新たに認証プログラムを作成してください。
	入力した実行パスワードが登録されているパスワードと不一致です。 OK をクリックしてメッセージを閉じてください。 パスワードまたは、認証プログラム番号が間違っていないかを確認してください。

7．ダウンロード履歴管理

ユーザーが自分のダウンロード履歴を参照・修正、認証プログラムを再ダウンロードすることができます。
この機能で実現することができることは以下の５つです。

① ダウンロード履歴の管理
　・いつ、何（どのようなソフトウェア）の認証プログラムを作成したか
　・どの PC でインストーラが実行されたか
② 認証プログラムの再ダウンロード
③ 認証プログラムの実行パスワードの変更
④ 手配番号の変更
⑤ 備考欄の変更

Top Menu
↓
ダウンロード履歴検索
↓
ダウンロード履歴詳細管理

『Top Menu』画面より、「ダウンロード履歴管理」をクリックします。

認証プログラムを検索します。
メンテナンスする認証プログラムの明細にある［選択］ボタンをクリックします。

情報のメンテナンスまたは、［再ダウンロード］ボタンをクリックして認証プログラムをダウンロードします。

（１）．ダウンロード履歴を検索し、一覧表示します。

① 検索条件
　以下の検索条件を指定して検索することができます。
何も条件を指定しない場合には、ログインユーザーの過去のダウンロード履歴が一覧表示されます。

No.	項目	入力制限	説明
1	ユーザーID	半角英数字	ログイン中のログイン ID のみ指定できます。 検索条件に、他の方の ID を入れても検索できません。 ※管理者を除く
2	ベンダ	選択	登録済のベンダ(ソフトウェアメーカー名)をリスト表示します。
3	インストール区分	選択	ダウンロードした際の指定(「新規」など)の区分を指定しての検索です。
4	認証プログラム番号	数字	ログインユーザーが作成した、またはログインユーザーを利用可能ユ

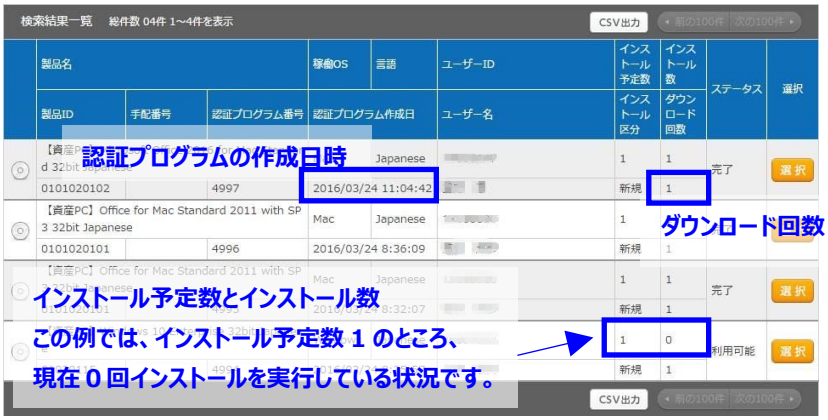
			ーザーとして登録した認証プログラム番号が表示対象です。
5	認証プログラム作成日（開始）	日付	認証プログラムの作成日付を範囲指定で指定します。 日付はカレンダーより選択して指定します。
6	認証プログラム作成日（開始）	日付	
7	ステータス	選択	ステータスを選択します。(例) すべて、利用可能、完了
8	製品名	チェックボックス	製品名を入力し検索します。 一部のキーワードのみを入力し“あいまい”検索もできます。ブランクで区切ることにより複数ワードによる検索も可能です。
9	製品 ID	半角英数字	製品 ID による検索が可能です。
10	手配番号	半角英数字	入力した場合には手配番号での検索が可能です。
11	手配番号未入力	チェック	手配番号入力の運用を行っている場合、チェックを入れると手配番号未入力のレコードのみ表示します。

② ダウンロード履歴の一覧

ログインユーザーのダウンロード履歴が一覧表示されます。ダウンロードした日時が新しい順となります。製品（ソフトウェア）、日時、インストール予定数と実際にインストールされた数、ダウンロードした回数等が表示されますので、ご確認ください。

該当の明細の[選択]ボタンをクリックすると『ダウンロード履歴詳細』画面に遷移します。

また、[CSV 出力]ボタンをクリックすると明細情報一覧を CSV データとして出力することができます。



・認証プログラムのステータス

ステータスによって 選 択 ボタンをクリックして『ダウンロード履歴管理詳細』画面で行うことができる操作は次表のとおりです。

ステータス	ステータスの説明	ダウンロード履歴管理詳細で行う次のアクション
利用可能	ソフトウェアのダウンロードが可能な状態です。	**・ソフトウェアのダウンロード** ソフトウェアをダウンロードします。 **・更新** 追加情報を入力し、情報を更新します。
完了	インストール予定数までインストールを実行した。または、有効期限を超過した状態です。	**・更新** 追加情報を入力し、情報を更新します。

キャンセル	ソフトウェア利用申請がキャンセルされた状態です。	・**更新** 追加情報を入力し、情報を更新します。

（2）．ダウンロード履歴の詳細を参照する、管理する

ダウンロードの内容を詳細に確認することができます。また、実行パスワード（暗号化されたインストーラの開封パスワード）を変更することができます。

インストールを実行したＰＣ情報

実行パスワードなどの更新

備考などの更新

①実行パスワードの変更

実行パスワード（暗号化されたインストーラの開封パスワード）を変更することができます。忘れてしまった場合等にご利用ください。加えて、暗号化されたインストーラのファイルを外部に送ってしまったなど万一の事故の際、これを変更することにより、直ちに利用停止する（そのインストーラを無効にする）ことができます。

②そのほかの変更可能項目

以下の項目を修正することができます。

・手配番号　：office 製品や Windows OS のダウンロードの際には不要です。

・使用場所、利用者：変更があれば修正してください。

・備考１～3：メモ項目です。特になければ入力は不要です。

③確認できる内容

以下の項目を確認することができます。

No.	項目	入力制限	説明
1	製品名	表示	ソフトウェアの製品名を表示します。
2	稼働 OS	表示	ソフトウェア稼働 OS を表示します。
3	言語	表示	ソフトウェア言語を表示します。
4	認証プログラム番号	表示	ダウンロード実施時に採番された認証プログラム番号を表示します。
5	製品 ID	表示	ソフトウェアの製品 ID を表示します。
6	インストール予定数	表示	ダウンロード時の設定値を表示します。
7	インストール数	表示	現在の累計インストール数を表示します。
8	有効期限（時間）	表示	ダウンロード時の設定値を表示します。
9	インストール PC	表示	ダウンロードしたソフトウェアのインストール実行ボタンをクリックしたパソコンの情報を表示します。
10	実行パスワード	半角テキスト	パスワードを変更する場合に入力します。 実行パスワードと実行パスワード（確認）は一致している必要があります。
11	実行パスワード（確認）	半角テキスト	
12	利用可能ユーザーID	半角英数字	認証プログラムを作成したユーザー以外に利用できるユーザーを１名指定することができます。 指定されたユーザーは『ダウンロード履歴管理』から 認証プログラムをダウンロードすることができます。
13	インストール区分	表示	ダウンロード時の設定値を表示します。
14	手配番号	半角英数字	ダウンロード時の設定値を表示します（変更可）
15	同意利用規約	表示	認証プログラム作成時に同意した利用規約を表示します。
16	使用場所	テキスト	使用場所を表示します。
17	利用者	テキスト	利用者氏名を表示します。
18	備考１～3	テキスト	認証プログラム作成時の入力内容を表示します（変更可）

【留意点】

利用可能ユーザーID でログインした場合、[ダウンロード]ボタンのみ利用できます。

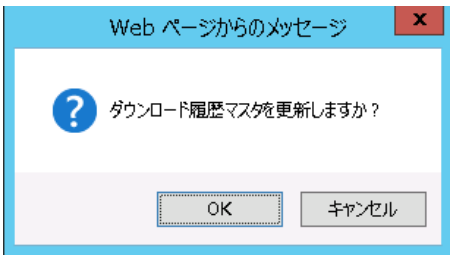
ダウンロード履歴情報を更新することはできません。

④ 情報の更新の場合

情報の更新を行う場合は、[更新]ボタンをクリックして下さい。

“ダウンロード履歴マスタを更新しますか？“という確認メッセージが表示されます。

[OK]ボタンをクリックしてください。

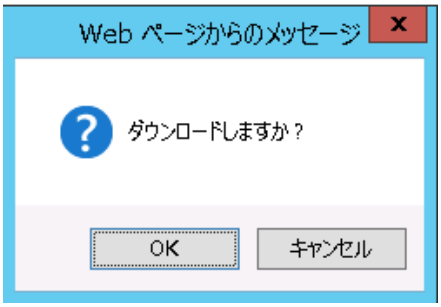


⑤ 再ダウンロードについて

再ダウンロードする場合は、[ダウンロード]ボタンをクリックしてください。

“ダウンロードしますか？“という確認メッセージが表示されます。[OK]ボタンを

クリックしてください。



”ダウンロード履歴マスタを更新しました”というメッセージが表示されます。ダウンロードの際、ブラウザの使用に応じてメッセージが表示されますので、適宜画面を進めてダウンロードして下さい。

【留意点】再ダウンロードとは？

「ソフトウェアのダウンロード」で作成しダウンロードした、暗号化されたインストーラ（認証プログラム）ファイルを、削除してしまった場合などに用います。

ただし、

●インストール予定数やインストール期間等は、最初にダウンロードした時からの情報を継続しています。例えば、有効期限を24時間でダウンロードし、再ダウンロード時に既に10時間経過していた場合、再ダウンロードした暗号化インストーラの有効期限は残り14時間となっています。

●再ダウンロードした場合、履歴としてダウンロード回数がカウントアップされますのでご承知おきください。

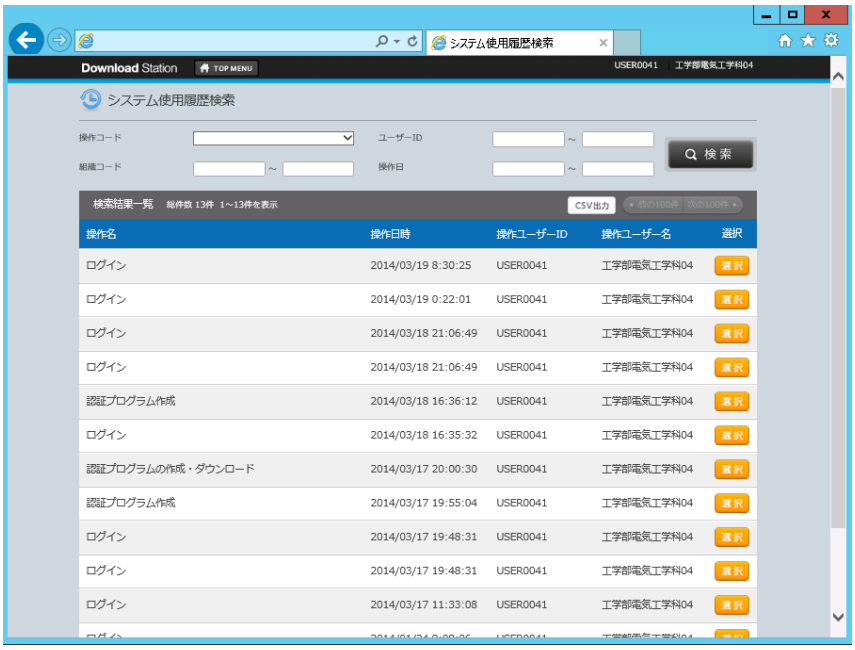
⑥画面を閉じます

左上の[Download Station]ロゴをクリック → 『Top Menu』画面に遷移します。

[戻る]ボタンをクリック → 『ダウンロード履歴検索』画面に遷移します。

８．システム使用履歴

Download Station の Web システム操作履歴をユーザー自身が確認できます。参照可能な使用履歴は、ログインユーザーの操作分のみです（システム管理者を除く）。
操作コードなどで参照する履歴情報を絞り込むことができます。検索条件を指定しない場合には、全ての使用履歴データが一覧表示されます。



明細の[選択]ボタンをクリックすると個々の操作の詳細情報を表示します。

９．ダウンロード明細出力

ダウンロード明細出力は、ソフトウェアのダウンロード実績明細を表示・CSV 出力する機能です。
ダウンロード明細出力は、Top Menu より [システム設定]-[ダウンロード明細出力]を選択して『ダウンロード明細出力』画面を表示します。

No.	項目	入力制限	説明
1	組織コード（開始）	半角英数字	検索対象の組織コードを開始と終了で指定します。 指定する際には[参照]をクリックすることで組織ツリーから選択することができます。 ※ツリーは必ずしも組織コード順とは限らないため注意してください。
2	組織コード（終了）	半角英数字	
3	ユーザーID（開始）	半角英数字	検索対象のユーザーID を開始と終了で指定します。
4	ユーザーID（終了）	半角英数字	
5	製品グループ（開始）	半角英数字	検索対象の製品グループコードを開始と終了で指定します。 指定する際には[参照]をクリックすることで製品グループツリーから選択することができます。 ※ツリーは必ずしも製品グループコード順とは限らないため注意してください。
6	製品グループ（終了）	半角英数字	
7	製品 ID（開始）	半角英数字	検索対象の製品 ID を開始と終了で指定します。
8	製品 ID（終了）	半角英数字	
9	ダウンロード日付（開始）	日付	検索対象のダウンロード日付を開始と終了で指定します。 指定する際には[参照]をクリックすることでカレンダーを選択して指定することができます。
10	ダウンロード日付（終了）	日付	
11	認証プログラム番号	数字	認証プログラム番号が分かっている場合にはその番号を入力します。

※システム管理者を除き、参照できるデータはログインユーザー自身の情報と、ログインユーザーが所属する組織より下位の組織に存在するユーザーのデータです。

No.	認証プログラム番号	製品名	認証プログラム作成者 ダウンロード操作者	認証プログラム作成日 ダウンロード日付
1	1058	IBM SPSS Ststistics ver.22 for Mac	英文科ユーザー 1	2014/04/04 14:25:50
			USER0001	2014/04/04 14:25:50
2	1057	Firefox 28.0 for Mac	生物資源学科ユーザー	2014/04/04 14:24:53
			USER0019	2014/04/04 14:24:53
3	1056	Microsoft Office Professional Plus 2013 with SP1 (x64) English	生物資源学科ユーザー	2014/04/04 14:24:24
			USER0019	2014/04/04 14:24:24
4	1055	IBM SPSS Statistics ver.22 for Windows	政治経済学科ユーザー	2014/04/04 14:23:13
			USER0011	2014/04/04 14:23:13

CSV データレイアウト

項目名	項目名
No.	認証プログラム番号
組織 CD	認証プログラム作成日時
組織名	ダウンロード回数
製品グループ ID	認証プログラム作成者 ID
製品グループ名	認証プログラム作成者名
製品_ID	ダウンロード操作ユーザーID
製品名	ダウンロード操作ユーザー名
言語	ダウンロード日時

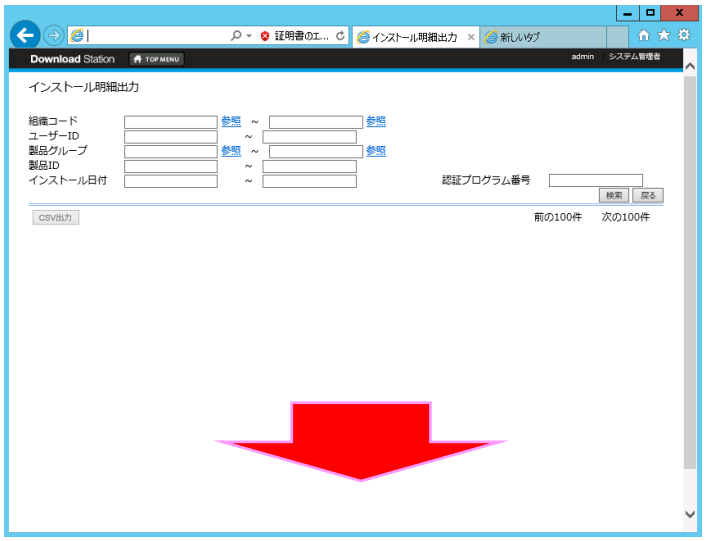
１０．インストール明細出力

インストール明細出力は、ソフトウェアのインストーラ実行実績明細を表示・CSV 出力する機能です。

ダウンロード明細出力は、Top Menu より [システム設定]-[インストール明細出力]を選択して『インストール明細出力』画面を表示します。

No.	項目	入力制限	説明
1	組織コード（開始）	半角英数字	検索対象の組織コードを開始と終了で指定します。 指定する際には[参照]をクリックすることで組織ツリーから選択することができます。 ※ツリーは必ずしも組織コード順とは限らないため注意してください。
2	組織コード（終了）	半角英数字	
3	ユーザーID（開始）	半角英数字	検索対象のユーザーID を開始と終了で指定します。
4	ユーザーID（終了）	半角英数字	
5	製品グループ（開始）	半角英数字	検索対象の製品グループコードを開始と終了で指定します。 指定する際には[参照]をクリックすることで製品グループツリーから選択することができます。 ※ツリーは必ずしも製品グループコード順とは限らないため注意してください。
6	製品グループ（終了）	半角英数字	
7	製品 ID（開始）	半角英数字	検索対象の製品 ID を開始と終了で指定します。
8	製品 ID（終了）	半角英数字	
9	インストール日付（開始）	日付	検索対象のインストール日付を開始と終了で指定します。 指定する際には[参照]をクリックすることでカレンダーを選択して指定することができます。
10	インストール日付（終了）	日付	
11	認証プログラム番号	数字	認証プログラム番号が分かっている場合にはその番号を入力します。

※システム管理者を除き、参照できるデータはログインユーザー自身の情報と、ログインユーザーが所属する組織より下位の組織に存在するユーザーのデータです。



インストール明細出力画面

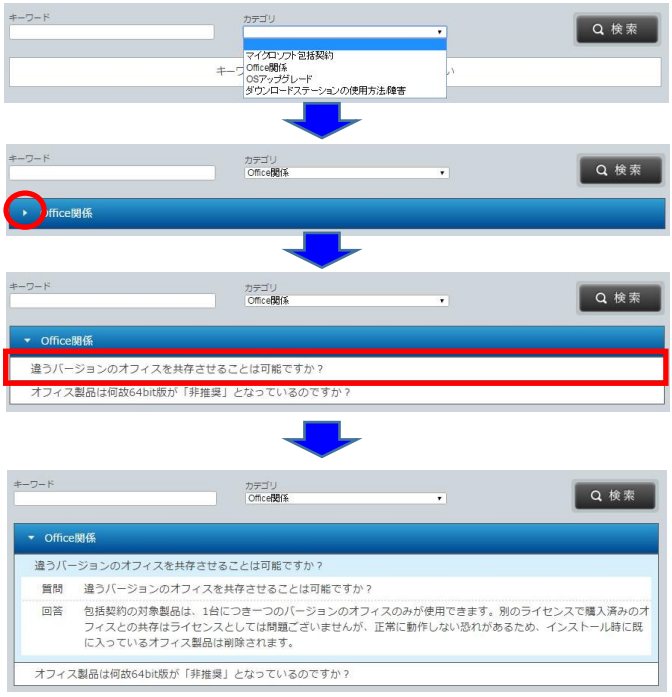
CSV データレイアウト

項目名	項目名
No.	認証プログラム作成者名
組織 CD	インストール P C 名
組織名	インストール PCOS
製品グループ ID	インストール P C IP アドレス
製品グループ名	インストール P C　MAC アドレス
製品_ID	ログインユーザー名
製品名	インストール日時
言語	
認証プログラム番号	

認証プログラム作成日時
認証プログラム作成者 ID

１１．ＦＡＱ

Download Station の操作に関する情報を検索・確認することができます。
カテゴリを選択して表示します。また、キーワードによる部分検索が可能です。



カテゴリをドロップダウンリストから選択

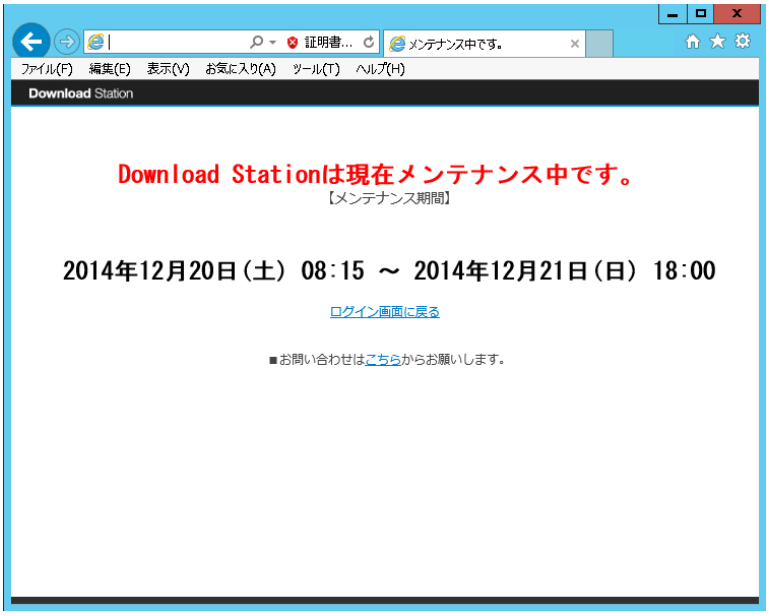
カテゴリの展開
カテゴリ明細の ▶ をクリック

確認したいトピック明細をクリック

選択されたトピックが質問・回答イメージで展開されます。

１２．メンテナンスモード

システムメンテナンスにより、Download Station システムが一時的に利用を制限する場合があります。
その際、ログイン画面よりログインすると TopMenu 画面 ではなく、 メンテナンスモード画面 が表示され、操作を行うことができません。



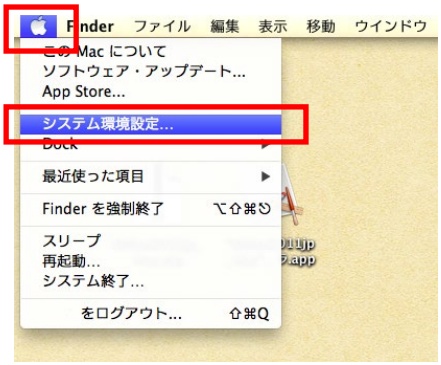
【付録１】ダウンロードしたアプリケーションの実行許可　（Mac OS X 10.7 以降）

Mac OS より Download Station 上でソフトウェアをダウンロードし、インストール作業を行う場合、「開発元が未確認のため開けません。」または「壊れているため開けません」というエラーメッセージが表示される場合があります。
このエラーを回避するためには、未確認の開発元のアプリケーションでもインストールすることができるように権限を一時的に許可する必要があります。

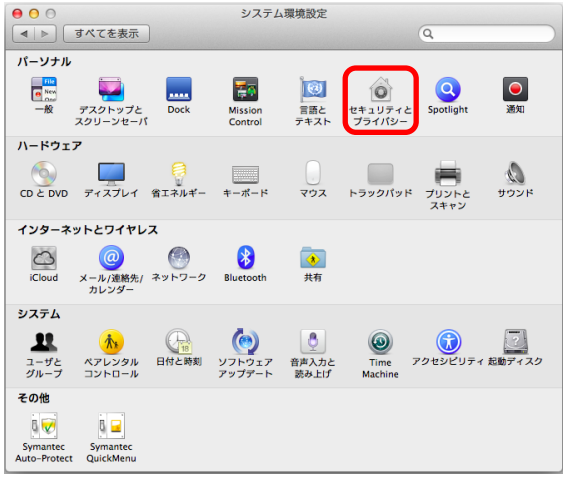
「未確認の開発元のアプリケーションでもインストールすることができるように権限を一時的に許可する」手順を以下に記載致しますので、お手数ですがご対応をお願い致します。
なお、macOS Sierra 以前と以降で手順が異なります。

■MacOS X Lion（10.7）～MacOS X El Capitan（10.11）の場合

① デスクトップ画面左上の Apple ロゴをクリックし「システム環境設定」画面を開きます。

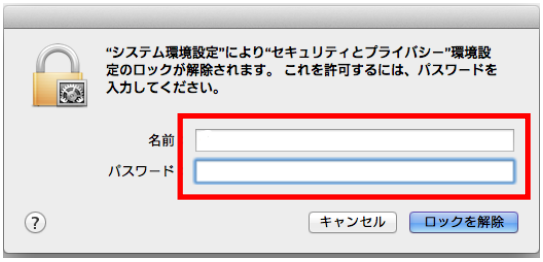


② セキュリティとプライバシーをクリックします。



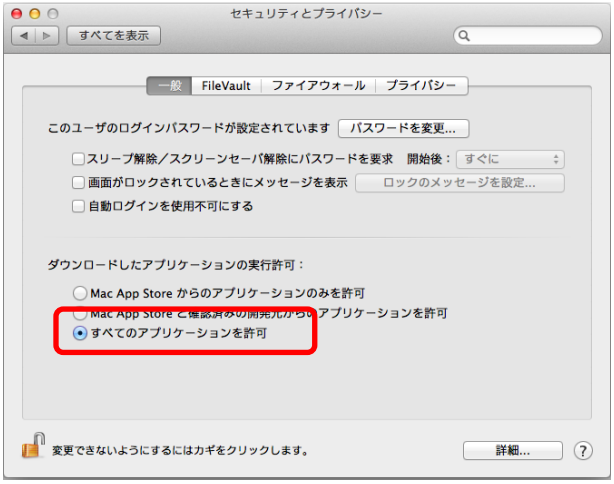
③ 左下の鍵マーク をクリックします。

④ Mac OS のアカウント名とパスワードを入力し、[ロックを解除]をクリックします。

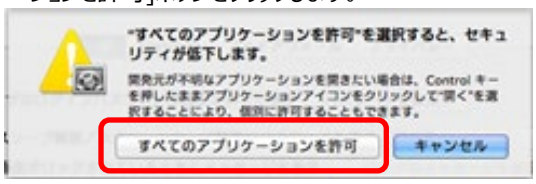


⑤ [ダウンロードしたアプリケーションの実行許可]の項目が選択可能になります。

⑥ 「すべてのアプリケーションを許可」を選択します。



⑦ 警告メッセージ“すべてのアプリケーションを許可”を選択すると、セキュリティが低下します。“が表示されます。
[すべてのアプリケーションを許可]ボタンをクリックします。



⑧ ファイルを開いても良いか確認メッセージが表示されます。
[開く]ボタンをクリックします。

⑨ インストーラ起動メッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックします。『インストーラの確認と実行』画面に遷移し、インストーラ起動操作が可能になります。

※インストールが終わった後、必要に応じて「Mac App Store と確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」へ設定を戻して下さい。

※③④で解除したカギ をクリックして変更できない状態に戻しておいてください。

■macOS Sierra（10.12）以降の場合

macOS Sierra からは Gatekeeper の仕様が変更になっており、システム環境設定の「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可」から「すべてのアプリケーションを許可」のオプションがなくなりました。有効にするためにはシステム設定で行う必要があります。

① ターミナルを開きます。
「アプリケーション」内の「ユーティリティ」フォルダにあります。
② 以下のコマンドを入力します。
sudo spctl --master-disable
システム環境設定を開き、セキュリティとプライバシーの一般タブを確認すると、「すべてのアプリケーションを許可」が追加され、チェックが入った状態となっています。
その後、DownloadStation からソフトをダウンロード・インストールしてください。
③ もう一度ターミナルを開いて、以下のコマンドを入力し、元の設定に戻します。
sudo spctl --master-enable

【付録２】こんな時どうする？

■ 認証プログラムのインストーラ実行パスワードを忘れてしまいました。

Web システムでパスワードを再設定することができます。
Ｐ.31 「７-(2). ダウンロード履歴の詳細を参照する、管理する」－でパスワードを再設定してください。

■ 認証プログラム番号を忘れてしまいました。

Web システムでご自身が作成された認証プログラムを確認することができます。
履歴を参照し、作成日時や作成したソフトウェア名から認証プログラム番号を確認してください。
Ｐ.28 「7. ダウンロード履歴管理」をご参照ください。

■ インストーラ起動後、キャンセルまたは失敗してしまいました。

システム上、インストールを１回実施済の認識です。インストール数を超過する場合には、恐れ入りますが認証プログラムを再作成してください。

■ ログインすることができません。

Download Station にユーザー情報が登録されていない場合があります。情報グループまでお問合せください。